第７回　SusHi Tech Tokyo 2026 実行委員会

１　日　　時：　2026 年３月 23 日（月）10:30～11:30 【オンライン開催】

２　出 席 者：　東京都副知事 宮坂委員長
東京都スタートアップ戦略推進本部 吉村副委員長
公益社団法人 経済同友会 菅原委員（代理出席・大橋氏）
東京商工会議所 小林委員（代理出席・渋谷氏）
一般社団法人 スタートアップエコシステム協会 藤本委員
一般社団法人 スタートアップスタジオ協会 佐々木委員
一般社団法人 インパクトスタートアップ協会 水野委員（代理出席・小池氏）
一般社団法人 スタートアップ協会 砂川委員

３　議事概要：　①宮坂実行委員長より開会挨拶
②事務局より報告事項についての案件説明
・SusHi Tech Tokyo 2026 に向けた取組状況
③審議及び意見交換
・海外と日本の参加比率は現状どうか。昨今の中東情勢を踏まえ、海外集客のリカバリー策を伺いたい。
→今回も昨年と同程度の水準を見込むが、メディアパートナーを通じた広報や PR 強化により、可能な限り海外比率を向上させていく旨、事務局より回答
・アプリのビジネスマッチングの登録状況は現状どうか。事前マッチングをアプリで行うところに注力いただきたい。
→出展企業やチケット購入者へ個別にご案内して登録を促すとともに、マッチング機能を周知して商談を増やしていく旨、事務局より回答
・海外参加者は肩書だけでは実際の役割や来場目的がわからない。例えば、海外 VC では、投資家かファンドレイズかによってマッチング相手が異なる。来場目的がわからないと有効なマッチングが難しい。来場目的を明確化するなどの工夫ができないか。
→来場目的を分類するデータは現状ないが、イノベーションカンファレンスとして、SU を対象としたマッチングを軸としてより多くの方にご参加いただけるよう進めていく旨、事務局より回答
・アプリでのマッチングに当たって、来場者と出展者間で商談や交流が進む仕組みを強化してほしい。特に海外商談に不慣れな中小企業への支援も含め、実効性あるビジネスマッチングとしてほしい旨、委員より意見あり
→より多くの来場者や出展者に登録してもらうことで、中小企業にとっても商談や交流の機会が拡大することになるため、マッチング登録を含む周知について、事務局としても全力を尽くしていくので皆様にもご協力いただきたい旨、事務局より回答
④吉村副委員長より閉会挨拶